

第332回 京都歩こう会コース案内

リーダー 多湖 幹男

新年恒例の初詣

日時:2024年1月12日(金)

集合:北野天満宮・正面大鳥居前 10時受付終了

コース:初詣 北野天満宮・正式参拝・・・(椅子席 全員入場可)

距離:0.0km

行程:正面大鳥居前受付終了後⇒内容ご連絡⇒拝殿前移動⇒拝殿(ご祈祷)⇒記念撮影後解散

◎新年恒例の食事は、参加者減少のため廃止とさせていただきます。2月に新春懇親会を行います。

【見どころ】

●北野天満宮の由緒:

北野天満宮の創建は、平安時代中頃の天曆元年(947年)、西ノ京の多治比文子や近江国の比良宮の神主神良種、北野朝日寺の僧 最珍らが当所に神殿を建て、菅原道真公をお祀りしたのが始まりとされる。その後、藤原氏により大規模な社殿造営があり、永延元年(987年)一条天皇の勅使が派遣され国家平安が祈念された。この時代から「北野天満宮」の神号が認められ、寛弘元年(1004年)の一条天皇の行幸をはじめ、代々皇室の崇敬をうけ、国家国民を守護する靈験あらたかな神として崇められてきた。

現在、全国各地には道真公をお祀りした神社が、約12,000社あるとも言われ、その多くが当宮からの御霊分けをした神社となります。

●北野天満宮・史跡 御土居のみみじ:

桃山時代 豊臣秀吉公が洛中洛外の境界に、水防のための土塁「御土居」を築いた。その一部が残る境内の西側一帯は史跡として指定され、現在 約350本のみみじを有する名所となっている。

国宝御本殿と紅葉の風景はまことに絶景である。

●上七軒:

室町時代に北野天満宮再建の際、残った資材を使って七軒の茶店を建てたのが由来である。桃山時代に、豊臣秀吉が北野天満宮で大茶会を開いた折り、茶店側が団子を献上した所、大いに誉められて以来、西陣との結びつきもあり花街としての繁栄を極める。



北野天満宮・正面大鳥居(一の鳥居)



三光門



御拝殿(国宝)

【次回第333回ご案内】

日時:2024年2月23日(第4金曜)

コース:源氏物語・宇治十帖を歩く 7.2km ☆

集合:JR奈良線・宇治駅 午前10時

【次回下見会ご案内】

日時:2024年1月26日(第4金曜日)

コース:源氏物語・宇治十帖を歩く 7.2km
集合場所:JR奈良線・宇治駅 午前10時

日時:2024年2月9日(第2金曜日)

コース:高瀬川と京の名水 6.5km
集合場所:京阪本線・伏見稻荷駅 午前10時